



特別国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会第2日は29日、フラット八戸などで2競技が行われた。青森県勢はフィギュア少年女子フリーで聖前登乃華(工大一高)が20位となり、前日のショートプログラム(SP)と合わせた個人総合で21位。回都道府県対抗は14位だった。

少年男子個人総合は周藤集(千葉・千葉明徳高)、少年女子同は千葉百音(宮城・東北高)が頂点。競技最終日のショートトラックは、少年男子5000円で榛村慧(神奈川・慶応高)、少年女子同で石井更紗(神奈川・麻溝台高)が制した。

第3日の30日はYSアリーナ八戸でスピードが始まり、フィギュアと計2競技が行われる。

(取材班)

八学大3選手 長野代表で貢献

○青森県選手団はショートトラックへの出場はゼロだったが、長野県成年男子に同県出身の八学大スビード選手3人が出場。男女



【ショートトラック成年女子3000円リレーB決勝】長野代表で出場した八学大の近藤杏菜(奥)と宮澤菜那(手前)はテクノルアイスパーク八戸

ショートトラック

- ▽テクノルアイスパーク八戸
- ▽成年男子5000円決勝 ①重弘喜一(東京・共立文テナス)42秒698 ②古川(山梨・山梨学院大)43秒001 ③横山(愛知・トヨタ自動車)44秒785、新井(長野・日大) Ⅱ失格
- ▽成年男子5000円リレー決勝 ①愛知(三沢、横山、井上、林)7分41秒255 ②神奈川7分54秒428 ③福岡7分58秒905、兵庫 Ⅱ失格
- ▽少年男子5000円決勝 ①榛村慧(神奈川・慶応高)43秒849 ②垣波(福岡・沖学園高)43秒967 ③播磨(福岡・九産大九州高)44秒123 ④洲上(兵庫・三

求されるショートトラック。3人はいずれも経験があるとはいえ本職ではない中、1カ月ほど前に出場を打診された。宮澤、近藤は最終日の3000円リレーメンバーとして出場。宮澤は「準備期間がなかったが何とか結果につなげられた」と笑顔を浮かべた。長距離が主戦場の近藤は「ショートでの刃の使い方などを今後のスピードにつなげたい」と気持ちを切り替えた。林も男子5000円リレーメンバーとして入賞。チームの役に立つことができ、良かったと思うなすいた。